

© Johnson Controls Inc. 機密情報-配布禁止 13-17.400.GLBL

改訂 4

ページ 1/ 28

改訂番号	改定日	発効日	変更内容の要約
1	2011-12-01	2011-12-01	初版
3	2018-07-02	2018-08-14	これまでの「Quality Expectations」を 3 つのセクションに分割: 1. サプライヤ・オンボーディング・プロセス 2. 製品のオンボーディングプロセス。 3. サプライヤのモニタリングと継続的改善 〈調達から支払いまで〉とういセクションの追加 第 2 版から第 3 版への改訂箇所:
			 新しい BOS フォーマット ハイパーリンクの追加、参考文献の更新、定義の追加。 目的と範囲の合理化 次にフォーカスした責任とグローバルサプライヤに期待されることを追加: 事理基準 ISO 規格に対する世界的な期待 サプライヤの開発 電子商取引 誠実さと倫理 グローバル利用規約のハイパーリンクの更新 レジリエンスと ESG をサプライヤ・スコアカードの評価と整合性を保つために追加し、過去のマニュアルから次を含む複数のセクションを削除:



© Johnson Controls Inc. 機密情報-配布禁止 13-17.400.GLBL

改訂 4

ページ 2/ 28

	T		T		
4	2024-03-01	2024-03-01	第4版では、第3版を以下のように刷新:		
			GSPSM BOS ヘッダー		
			GSPSM 外部アクセスと登録ページ		
			法的ガイダンスを受けチェックボックスに注記を追加: "グローバル・サプライヤ業績基準マニュアル(GSPSM)にアクセスすることで、Johnson Controls の機密事項であり、独占所有権であることに同意するものとします。 GSPSM に含まれる情報を、無許可で共有または配布することは固く禁じられています。"		
			承認		
			承認者を以下のように変更:		
			グローバル製品調達担当副社長のドゥエイン・マイヤーを 除去し、レーン・ジョンソンで置き換え		
			● EMEALA 調達担当副社長のレーン・ジョンソンを除去し、 バーブ・ニットで置き換え		
			 LATAM 調達責任者のファビオ・モリヤを除去し、レアンドロ・ファリーナで置き換え 		
			グローバル・マテリアルズ副社長、Artur Czarnecki を追加		
			2.0 範囲と 3.0 責任		
			一貫性と透明性のためにサプライヤの種類を再調整		
			4.0 グローバルサプライヤに期待されること		
			4.1.4 データセキュリティ		
			サプライヤに対するデータ・セキュリティ要求 事項のセクションとハイパーリンクの挿入		
			4.1.5 電子商取引		
			GEP Smart を追加し、Gainfront (旧 Quantum) ハイパーリンクを更新		
			4.1.6 誠実さ、倫理、サステナビリティ		
			Added Sustainability to the title and		
			incorporated the Facility Siting,		
			Sustainability Report and Disclosures		
			4.4.1 サプライヤのダイバーシティ		
			 Gainfront を反映し、ハイパーリンク、<u>多角的</u> ベンダーのプロファイルと支出報告; Gainfront を 修正 		
			5.0 サプライヤと製品のオンボーディング		
			5.1.2.サプライヤの検証とベンダー・マスターの設定		
			● "デューデリジェンス"を含む編集		
			5.1.4 eRFX または電子オークション		

Johnson Controls

グローバルサプライヤ業績基準マニュアル(GSPSM)

© Johnson Controls Inc.	13-17.400.GLBL	改訂 4	ページ 3/ 28
機密情報−配布禁止			

 GP 見積依頼プロセスの削除と電子オークションへの置き換え 5.1.5 項の「品質と実証された実績」を参照。 eRFX と eAuction を区別するための脚注を追加。 5.1.4.1 SOA DSOA を削除し、SOA のタイトルセクションと内容を更新 5.1.4.2 FSOA ISA を削除し、FSOA のタイトルセクションと内容を更新 5.2.1.3 パッケージング 明確な指示、期待、および梱包リストの要件を追加した梱包ラベル基準を更新 コンテナラベル規格と梱包明細書のイラストを追加した根包ラベル基準を更新 ロンテナラベル規格と梱包明細書のイラストを追加 LeanDNA LeanDNA Supplier Connect のハイパーリンクを削除しました。 LeanDNA ナレッジベースのハイパーリンクを追加しました。 LeanDNA ポータル経由の LOB の場所を追加 5.2.1.7 事前出荷通知(ASN) EDI に関連する ASN 言語の明確化 (の関連から支払いまで(PTP):原料とサービス ハイパーリンクの追加: Procure to Pay Procure-to-Pay (Purchase-to-Pay or PTP/P2P) (月間速から支払いまで(PTP) 語水書券行と支払い ハイパーリンクの追加: Procure to Pay Procure-to-Pay (Purchase-to-Pay or PTP/P2P) 金地域を対象とした語来書券行要件の基本原則のハイ
 全地域を対象とした請求者先行安件の基本原則のバイパーリンクを編集しました 6.2 サプライチェーン・ファイナンス (SCF) 標準支払条件を 120NPR に更新 SCF 教材の説明とハイパーリンクの更新、パスワードの提供 8.0 リソースサイト

注:書式、文法、構文、ハイパーリンクの編集。



© Johnson Controls Inc. 機密情報-配布禁止 13-17.400.GLBL

改訂 4

ページ 4/ 28

所有責任者

名前:blanca.e.salas@jci.com

役職: シニア・グローバル・プログラム・マネージャー - 調達部門 CoE

承認 氏名:バーブ・ニット 氏名:レアンドロ・ファリーナ 役職:EMEALA 購買部門 VP 役職:LATAM 調達責任者 氏名:ブレント・ブールスマ 氏名:メリー・ツァン 役職:BSNA、調達担当副社長 役職:APAC 購買部門 VP 氏名:エリック・マック 氏名:ライアン・L・タミンガ 役職:間接材担当購買部門 VP 役職:グローバルテクノロジー担当購買部門 VP 氏名:ジェイ・ジー 氏名:アルトゥール・チャルネツキ 役職:JCH 調達部門部長 役職:グローバル・マテリアル・マネジメント副社長 氏名:レーン・ジョンソン 氏名:ハワード・モンク 役職:グローバルプロダクツ調達 VP 役職:サプライヤ開発品質担当副社長

マスターファイルは電子的に保管されています。電子版は署名なしで有効です。印刷版は参照用です。印刷版は管理対象外であり、文書が開かれ、印刷された日付においてのみ有効です。管理文書は随時変更される可能性があるため、文書管理システムに現在発行されている文書に必ずアクセスし、閲覧するようにしてください。

目次

6
6
6
6
6
7
7
7
7
8
8
9
9
9
10
10

Johnson Controls

グローバルサプライヤ業績基準マニュアル(GSPSM)

© Johnson Controls Inc. 機密情報-配布禁止 13-17.400.GLBL

改訂 4

ページ 5/ 28

4.	.9.2.	Ecovadis© アセスメント	11
5.0	サプラ	イヤと製品のオンボーディング	11
5.1.	サブ	[゚] ライヤのオンボーディング・プロセス	11
5.	1.1.	サプライヤの検証とベンダー・マスターの設定	11
5.	1.2.	サプライヤの所在地と連絡先のプロファイル(ERP のセットアップに加えて)	11
	5.1.2.1	主要連絡先	11
	5.1.2.2		
5.	1.3.	eRFX または eAuction	12
5.	1.4.	サプライヤ・オペレーション・アセスメント(SOA)とフィールド・サプライヤ・オペレーション・アセスメント(FSOA)	13
	5.1.4.1	SOA	13
	5.1.4.2	FSOA	14
5.2.	製品	hのオンボーディングプロセス	14
5.	2.1.	材料要件	14
	5.2.1.1	アドバンスト・プロダクト・クオリティ・プランニング(APQP)	14
	5.2.1.2	生産部品承認プロセス(PPAP)/製品承認および工程サインオフ(PAPSO)	14
	5.2.1.3	パッケージング	15
	5.2.1.4	サプライチェーン・ロジスティクス	17
	5.2.1.5	LeanDNA©	18
	5.2.1.6	ラインバランス(Line of Balance: LOB)	18
	5.2.1.7	事前出荷通知(ASN)	19
6.0	調達か	ら支払いまで:原料とサービス	20
6.1.	Prod	cure-to-Pay (調達から支払いまで(PTP))請求書発行と支払い	20
6.2.	サブ	プライチェーンファイナンス (SCF)	20
7.0	業績監	琵視、関係構築、サプライヤエスカレーション	21
7.1.	サブ	[゚] ライヤ・スコアカード	21
7.2.	品質	[目標:100 万機械あたりの欠陥数(部品不良品率(PPM))	21
7.3.	逸朋	iプロセス/コントロール	21
7.4.	サブ	゚ライヤ変更管理	22
7.5.	不适	賃合材料のサプライヤ通知	22
7.6.		題解決情報システム(IRIS)	
7.7.		ジメント・クオリティ・レビュー(MQR)の導入	
7.8.	サブ	プライヤ四半期ビジネスレビュー(QBR)	23



© Johnson Controls Inc. 13-17.400.GLBL 改訂 4 ページ 6/28 機密情報-配布禁止

7.9.	サプライヤのエスカレーション	. 23
8.0	リソースサイト	. 23
9.0	定義	. 24

1.0 目的

Johnson Controls(JCI)では、安全で高品質な製品とサービスを提供することにコミットしています。JCIの目標は、クラス最高の製品、サービス、プロセスを通じて卓越したパフォーマンスを達成し、お客様の高まる期待を上回るためにサプライヤと協力することです。JCIでは、サプライヤが JCIの価値観と方針に沿い、社会的・環境的に責任ある方法で事業を行うことを期待しています。

JCI は、サプライヤが JCI の基準を満たしていることを確認するために、グローバル・サプライヤ業績基準マニュアル(GSPSM)を作成し、主要な測定基準に関するサプライヤとの価値と協力を推進しています。

2.0 対象範囲

GSPSM は、世界中すべての JCI 拠点に適用されます。これには、JCI 直接事業、間接事業、およびフィールドエンタープライズ事業に対して、内部使用または再販目的で機器、製品、材料、およびサービスの調達に関与する連結合弁会社および関連会社が含まれます。

3.0 責任

JCI の直接、間接、フィールドオペレーションに設備、製品、材料、サービスを提供する、すべての JCI サプライヤは、GSPSM に記載されるすべての要件と期待に従うことが期待されます。サプライヤは、GSPSM を確認し、遵守する責任を負い、各拠点に配布し、遵守を徹底するものとします。

4.0 グローバルサプライヤに期待されること

4.1. 管理基準

JCI は、サプライヤが誠実さ、倫理、環境、品質へのコミットメントを示すことを期待します。このコミットメントの鍵は、適切な品質、環境、労働衛生、安全管理基準の実施です。

以下の表は、JCI が最低限期待する事項、または JCI 調達部が承認した同等の事項を示しています。JCI と取引を行う際のその他の必要条件については、GSPSM に記載されています。その他の必要事項および期待事項については、あなたの地域の JCI 調達担当者にお問い合わせください。



© Johnson Controls Inc. 13-17.400.GLBL 改訂 4 ページ 7/28 機密情報-配布禁止

4.2. ISO 認証に関する期待事項

支出のタイプ	品質管理システムの 登録/遵守	環境管理登録/コンプライアンス	安全衛生管理登録/コンプライアンス
直接材量サプライヤ→ 直接材サ プライヤ	ISO 9001:2015	ISO14001:2015	ISO 45001:2018
間接材サプライヤ - 一般	ISO 9001:2015	ISO14001:2015	ISO 45001:2018

4.3. サプライヤの開発

JCI は、GSPSM で定められた要求事項の遵守と継続的な改善を確実に行うため、サプライヤの協力のもとに開発計画を策定します。サプライヤ育成活動の実施方法は、各事業や地域ごとに適宜設定されます。ビジネス要件および/またはグローバル要件にアクセスするには、GSPSM に含まれるリンクを使用してください。

4.4. データセキュリティ

サプライヤは、個人情報または機密情報(以下、「機密データ」という)を違法かつ不正な処理から保護するために、あらゆる適切な法的、組織的、および技術的措置を講じるものとします。サプライヤのデータセキュリティ要件サプライヤは、機密データを不正な処理から保護し、適切なセキュリティ対策を講じなければなりません。サプライヤは、妥当な運営基準およびセキュリティ手順を維持し、こちらよりダウンロードが可能なデータアクセス契約に定められる適切な物理的および技術的な組織のセキュリティ措置を用いて、機密情報を保護するための最善の努力をするものとします。DAAの主要部:

- **サプライヤのデータセキュリティ要件**: サプライヤは、機密データを不正な処理から保護し、適切なセキュリティ対策を講じなければなりません。
- サプライヤのセキュリティ評価に対する買主の権利: 買主は、サプライヤに対し、セキュリティに関する質問書への記入、情報およびソフトウェアのアクセス権の提供、侵入テストまたはその他のセキュリティ評価の実施を要求することができます。
- 情報セキュリティ侵害が発生した場合のサプライヤの義務:サプライヤは、48 時間以内に買主に通知し、違反を調査、是正し、再発防止を保証しなければなりません。サプライヤはまた、通知の提供、信用監視、サイバー保険など、買主から要求された場合は是正措置を講じなければなりません。

4.5. 電子商取引

JCI は、電子商取引における継続的改善を通じて、サプライヤにこのような協働的改善努力を支援していただくことを期待します。<u>Ecovadis©アセスメント、</u>電子データ交換(EDI)、<u>GEP Smart</u>
<u>LeanDNA®、Oracle®輸送管理(OTM)、Procure to Pay Procure-to-Pay (PTP/P2P)</u>、<u>Gainfront (旧 Quantum</u>)などのツールが、当社のサプライヤとの電子商取引をサポートするために使用されています。JCI とサプライヤは、日常的な共同作業のための主要なコミュニケーション手段として、これらのアプリケーションを使用することが期待されています。



© Johnson Controls Inc. 機密情報-配布禁止 13-17.400.GLBL

改訂 4

ページ 8/ 28

4.6. 誠実さ、倫理、持続可能性

JCI の倫理と誠実さへのコミットメントは、地域社会と世界に恩恵をもたらすと同時に、株主価値、評判、生産性、従業員の定着率を向上させます。当社のビジネスのあり方を規定し、すべてのサプライヤに遵守を求める方針と施策は以下のとおりです:

- <u>気候変動対策</u> および <u>当社の姿勢</u>、エネルギーと気候変動へのコミットメントは、社内およびサプライヤの二酸化炭素排出量を削減するための指針です。
- <u>紛争鉱物に関する方針と報告</u> は、当社のサプライチェーン全体を通して紛争鉱物を責任を持って調達することを定義しています。
- 倫理的で透明性の高い コーポレート・ガバナンス。
- 多様性と包括性への当社のコミットメント。
- <u>施設立地に関する声明</u> JCI は、開発に伴う気候、土地利用の変化、生物多様性、自然への影響を十分に理解するために、施設の立地を評価します。
- <u>グローバル環境、衛生、安全(EHS)ポリシー</u>は、健康、安全、および環境を保護する事業を 行う上での主要な運営原則を定めています。
- 人権と持続可能性に関する方針は、グローバルスタンダードの遵守を表明しています。
- Integrity Helpline 違反の疑いがある場合に、報告することができます。
- <u>政治献金方針</u> は、該当する連邦法および州法を確実に遵守し、また遵守するだけにとどまらず、説明責任と透明性における先進的な実践を実施するために、政治献金と政治活動を指導します。
- <u>過重労働と人身売買に関する方針</u> および <u>声明</u> これは、人権を尊重した方法で事業を行うこと への当社のコミットメントを示すものです。
- <u>サステナビリティレポートと開示</u> JCI は、有言実行の姿勢で、改善すべき点について透明性ある対応を維持しています。
- JCI 倫理規範とバリュー第一

サプライヤは、次のために、最高の誠実さと倫理基準を維持することが求められます:

- 汚職、恐喝、横領、贈収賄、その他不当または不適切な利益を得る手段の禁止公正な事業、 広告、競争を確保する。
- 適用される要件および一般的な業界慣行に従って、ビジネス情報、顧客情報、および知的財産権を適切に開示し、保護する。
- サプライヤと従業員の内部告発者の機密性を保護する。

4.7. グローバル調達条件

JCI は、すべてのサプライヤが主要な方針、プロセス、購買条件を遵守することを期待します:

• 国際購入条件書

サプライヤがこれらの文書を特定できない場合は、JCI 調達窓口にお問い合わせ下さい。



© Johnson Controls Inc. 機密情報-配布禁止 13-17.400.GLBL

改訂 4

ページ 9/ 28

4.8. レジリエンス

4.8.1. 財務評価

JCI は、自社および取引先の財務状況を把握できるよう努めています。そのため、サプライヤの財務健全性評価は、デューデリジェンスや継続的なモニタリング活動において極めて重要なツールです。サプライヤの財務的健全性を評価することは、JCI のカテゴリー戦略(CS)、ソーシングボード(SB)、サプライヤ事業継続(SBC)、優先サプライヤリスト(PSL)のプロセスにおいて不可欠な要素です。さらに、カテゴリー・マネージャー、リーダーシップ、またはサプライヤ・オーナーが、サプライヤの財務健全性評価を要求することがあります。この目標を達成するため、JCI は第三者財務健全性評価プロバイダーであるRapidRatings®と提携し、サプライヤを定期的に評価しています。JCI に代わってRapidRatings®から参加についてお知らせがあった場合、サプライヤはこのプログラムに参加することが期待されます。参加から次の効果がもたらされます。

- 信頼、信用、長寿、協調を構築することにより、ビジネス関係強化できる。
- 透明性を高めることで、JCI がサプライヤをサポートし、協力しやすくなる。
- 現在、そして将来にわたって、JCI のお客様に途切れることのないサービスをお約束する。

参加方法は簡単です。RapidRatings® 財務評価の参加者に選ばれると、JCI に代わってRapidRatings® から依頼が届きます。RapidRatings® のセキュリティポータルから財務情報および/または書類を提出するよう求められます。貴社の情報は、RapidRatings® による評価目的でのみアクセス可能で、JCI がこのプロセスを通じてソース情報にアクセスすることはありません。JCI は、提供された情報に基づく分析レポートのみを受け取ります。JCI 担当者は、分析報告からの見解についてフォローアップを行う場合があります。

4.8.2. 事業継続と災害復旧計画

JCI にとって、自社の事業とサプライチェーンにおける事業継続と災害復旧計画は重要です。当社は、サプライヤが適切な計画、ツール、プロセス、およびガバナンスを維持し、自社の事業およびサプライチェーンにおける継続性を確保することを期待しています。JCI のサプライヤは、事業継続計画の活動が、納期とパフォーマンスのコミットメントをサポートし、健全な業界のベストプラクティス(ISO 規格など)に合致していることを確認する必要があります。継続計画では、以下の活動を優先する必要があります。

- 従業員を保護し、命を救う可能性がある
- 破壊的なイベントの最中および発生後の業務継続。
- お客様の信頼と信用を構築/強化する。
- 会社の評判を守る、
- 収益損失の最小化。



© Johnson Controls Inc. 13-17.400.GLBL 改訂 4 ページ 10/28 機密情報-配布禁止

- 多大な財務的影響をもたらすリスクへエクスポージャーの低減。
- サプライヤが自社の優先サプライヤに対して同様の要件を課すこと保証し、それを適切に監督すること。

事業継続管理に関する ISO 規格には以下がありますが、これらに限定されるものではありません。

ISO 規格(または、 それよりも新しい規格)	規格のタイトル
ISO/TS 22318:2021	セキュリティとレジリエンス - 事業継続管理システム - サプライチェーン事業継続管理のためのガイドライン
ISO 22301:2019	セキュリティ及びレジリエンスー事業継続マネジメントシステムー要 求事項
ISO 22313:2020	セキュリティおよびレジリエンス - 事業継続マネジメントシステム - ISO 22301 の使用に関するガイダンス
ISO/IEC 27031:2011	情報技術ーセキュリティ技術ー事業継続のための情報通信技術の 準備態勢に関する指針
ISO 9001:2015	品質マネジメントシステム - 要求事項
ISO 14001:2015	環境マネジメントシステムー要求事項及び利用の手引
ISO 45001:2018	労働安全衛生マネジメントシステム - 要求事項及び利用の手引

JCI は、サプライヤの事業継続計画の有効性をレビュー/検証するために、セルフアセスメントへの参加を義務付けたり、オンサイトアセスメントまたはオペレーションアセスメントを推奨することがあります(下記の「サプライヤ・オンサイト・アセスメント(SOA)」の項を参照)。

4.9. 環境・社会・ガバナンス(ESG)

4.9.1. サプライヤのダイバーシティ

JCI のサプライヤ・ダイバーシティ・プログラムの成功は、説明責任、トレーニング、顧客とサプライヤのネットワークにわたるサプライヤ・ダイバーシティ・プロセスによって成り立っています。は、1 つの部門、地域、または卓越したエリートグループに限定しないことを規律化するアプローチを取り入れています。業務、商業、および先進的なサプライヤ・ダイバーシティ活動はすべて、全社的に標準化されたプロセスによって結びつけられています。

- サプライヤのダイバーシティ Johnson Controls
- 多様なベンダーのプロファイルと支出レポート; Gainfront (Quantum)



© Johnson Controls Inc. 機密情報-配布禁止 13-17.400.GLBL

改訂 4

ーページ 11/ 28

4.9.2. Ecovadis© アセスメント

JCI は、サプライヤの持続可能性格付け調査に代わるものとして、国際基準に基づく世界的な持続可能性格付け会社である EcoVadis© を選び、サプライチェーン・パートナーの持続可能性パフォーマンスを個別に評価しています。

EcoVadis©アセスメントのスコアは、サプライヤ・スコアカードの持続可能性格付けの代わりに使用することができます。EcoVadis©は、当社のサプライチェーンの持続可能性活動に積極的に参加するためのツールと理解を提供します。

• Ecovadis© アセスメント

5.0 サプライヤと製品のオンボーディング

5.1. サプライヤのオンボーディング・プロセス

5.1.1. サプライヤの検証とベンダー・マスターの設定

JCI のサプライヤはデューデリジェンスを受ける必要があり、運営する地域によっては書類の提出が必要になる場合があります(W8/W9、公式レターヘッドの銀行情報など)。詳細については、サプライヤの追加/変更プロセスの要件についてカテゴリーマネージャーにお訪ねください。

5.1.2. サプライヤの所在地と連絡先のプロファイル(ERP のセットアップに加えて)

JCI は、ERP サプライヤ・バリデーションとベンダー・マスターのセットアップを通じて収集した支払/送金明細に加え、別のグローバル・ベンダー情報管理システムを活用して、サプライヤの連絡先や所在地などのサプライヤ・プロファイルを収集および管理し、日常的なコミュニケーションや緊急対応に活用しています。

5.1.2.1 主要連絡先

GEP SMART™ システム上ですでにプロファイルを作成している、または作成を依頼されたサプライヤは、該当する場合、以下の重要な役割の連絡先詳細(氏名、役職、電話番号、Eメール)を提供し、管理することが求められます:

- 販売、アカウント担当者、カスタマーケア
- 構築/RFP、契約、カタログ、発注
- 買掛金および売掛金
- 安全と運営
- IT と情報セキュリティ
- 規制および貿易コンプライアンス



© Johnson Controls Inc. 機密情報-配布禁止 13-17.400.GLBL

改訂 4

ページ 12/ 28

• 社長/CEO を含むエグゼクティブリーダー、および主要機能(販売、製品管理、品質、製造/生産オペレーション、流通、情報セキュリティなど)のリーダ

5.1.2.2 主要拠点

既に GEP SMART™ システム上でプロファイルを作成している、または作成を依頼されたサプライヤは、以下のような JCI への商品およびサービスの生産および納入に関わる主要な拠点について、所在地の詳細(住所、通り、市町村、州/県、国、郵便番号)を提供し、維持することが期待されます:

- 本社
- 製造/生産/加工/組立/検査
- データセンター
- 流通ハブ
- サービス拠点

JCI はこのようなデータの収集と維持に GEP SMART™ ツールを使用しています。この ツールには、セルフサービスのサプライヤポータルが含まれています。本システム上ですでにプロファイルを作成している、または作成するよう要請されたサプライヤは、 少なくとも年に 1 回、GEP SMART™ プロファイルの詳細を見直して更新し、追加の更新を要求された場合は、適時に対応することが期待されます。

サプライヤプロファイルの作成と管理の詳細については、「 <u>GEP SMART™ サプライ</u> <u>ヤ・クイック・リファレンス・ガイド</u> 」を参照してください。 <u>GEP SMART™</u> プラットフォーム に登録およびアクセスするには、JCI からの招待状が必要です。

5.1.3. eRFX または eAuction

JCI は、GEP SMART の eRFX または eAuction プロセスを通じて、1 社または複数のサプライヤに取引を発注する権利を保有します。 JCI は、 JCI が希望するサービスとコストに最も近いサプライヤを特定するよう努めます。 各提案の価値の合計は、決定に至る前に慎重に分析されます。

- 一次選考基準には以下が含まれます。
- 価格設定(単価と総所有コスト)
- JCI の製品および/またはサービス要件を満たす能力。
 - 能力 インフラ、人財、テクノロジー&イノベーション
 - JCI の要件を満たす能力
 - 納品のリードタイムまたはサービスの完了時間
 - 品質と実証された実績(5.1.5 項を参照)
 - 製造、サービス、販売、サポートの拠点/利用可能性

Johnson Controls

グローバルサプライヤ業績基準マニュアル(GSPSM)

© Johnson Controls Inc. 機密情報-配布禁止 13-17.400.GLBL

改訂 4

ページ 13/ 28

- 幅広い製品レンジ
- 世界的および地域的な運営
- 支払および価格条件
- 財務の安定性および運用回復力などのリスク評価
- 導入の容易さ
- 参照文献

注: eRFX と eAuction はいずれも入札イベントです。 eRFX は非同期ですが、 eAuction の入札はリアルタイムで行われます。

5.1.4. サプライヤ・オペレーション・アセスメント(SOA)とフィールド・サプライヤ・オペレーション・アセスメント(FSOA)

5.1.4.1 SOA

サプライヤ・オペレーション・アセスメント(SOA)は、JCI PSL に登録される前、または 生産発注の前に、グローバル・サプライヤ品質・開発エクセレンスチームのメンバーま たはその被指名人によって実施される場合があります。

- SOA は、品質、商業、材料、エンジニアリング、リーダーシップ、持続可能性 の各分野でサプライヤを監査するための一連の質問で構成されています。
- SOA プロセスは通常、SOA ファイル内に概説されている自己評価を完了するようサプライヤに要請することから始まります。その後、仮想/デスクトップ・アセスメント、またはオンサイト・アセスメントを実施します。SOA が完了すると、最初の SOA で特定されたアクションを検証し、終了するためにフォローアップ訪問が予定される場合があります。
- SOA 期間中、JCI 担当者は、各セクションを評価および検証し、裏付け、関連文書、マニュアル、生産業務、直接または間接担当者のインタビュー、最低要件を満たさない場合の措置の要請を行います。
- すべての調査結果は、サプライヤの評価および/またはクロージング・ミーティングで話し合われます。措置、期限、担当者/部署は、最終会議の際、および/または完了済みの評価をサプライヤに提出後に割り当てられます。
- サプライヤは、この開発プロセスに積極的に関与し、合意された期日までにすべての措置が完了する必要があります。これにより、評価スコアが向上し、必要な資格レベルを満たせるのと同時に、特定された JCI へのリスクを最小限に抑えることができます。
- SOA は、サプライヤのオンボーディング・プロセスの一環として実施されますが、主要な戦略的サプライヤについては、少なくとも5年に1回実施されます。しかし、業績の低下や、工場の移転、新プロセスの導入など重大な変更があった場合は、いつでも査定を依頼することができます。



© Johnson Controls Inc. 機密情報-配布禁止 13-17.400.GLBL

改訂 4

ページ 14/ 28

- SOA 評価プロセスは、より詳細なプロセスに焦点を絞った監査ができる、 Quality Best Business Practice(QBBP)で代用または補足できます。
- サプライヤが ISO 認証(ISO9001、IATF16949、AS9100 など)を取得している場合、簡易的な SOA が実施される場合があります。

5.1.4.2 FSOA

このプロセスの目的は、上述される SOA と基本的に同じですが、間接材サプライヤに使用されるもので、一方、FSOA(Field Supplier Operational Assessment (フィールドサプライヤ業務評価))は、JCI の APAC フィールドビジネスの下請け業者のオンボーディングに使用されます。

5.2. 製品のオンボーディングプロセス

製品のオンボーディングは、製造部品承認プロセス(PPAP)/製品承認および工程サインオフ (PAPSO)開発プロセスです。このプロセスでは、ビジネス要件と仕様が評価され、サンプルテスト/承認、設計欠陥モード影響解析(DFMEA)開発/評価、図面の正確性、クリティカル・トゥ・クオリティ (CTQ)/技術的側面、および Johnson Controls とサプライヤの両方に対する製造可能性とリスクを評価するために要求/実施される能力調査などの評価が行われます。

5.2.1. 材料要件

5.2.1.1 アドバンスト・プロダクト・クオリティ・プランニング(APQP)

APQP(アドバンスト・プロダクト・クオリティ・プランニング)は、AIAG(Auto Industry Action Group:自動車業界行動グループ)が定義した、製品が顧客の期待を確実に満たすようにするために必要なステップを定義し、確立するための構造化された手法です。JCI は、サプライヤに APQP プロセスを文書化し、立ち上げ活動を支援するよう求めています。

5.2.1.2 生産部品承認プロセス(PPAP)/製品承認および工程サインオフ(PAPSO)

JCI が遵守する PPAP/PAPSO プロセスと要件は、AIAG プロセスと一致しています。 JCI 工場では、サプライヤが PPAP を確実に提出できるよう、グローバル・サプライヤ 品質開発エクセレンス(SQDE)チームが必要に応じてサポートします。

PPAP/PAPSOの要求事項が明確でない場合、または成果物が明確に理解されない場合、サプライヤは JCI の品質担当者と協力し、JCI 手順書「BE-PDP-PR-08-E 製品の承認および工程サインオフ(PAPSO)」に定義される PPAP/PAPSO プロセスを確認する必要があります。この文書が必要な場合は、担当者に要求してください。サプライヤは、JCI に製品またはサービスを供給するために、JCI 品質管理責任者または被指名人により承認された部品提出保証書(PSW)を取得する必要があります。場合によっては、JCI が定義し、同意した条件で、PSW の暫定承認が認められる場合があります。

Johnson Controls

グローバルサプライヤ業績基準マニュアル(GSPSM)

© Johnson Controls Inc. 機密情報-配布禁止 13-17.400.GLBL

改訂 4

ページ 15/ 28

5.2.1.3 パッケージング

サプライヤは、JCI、関係輸送業者、および仕向け国の要件に従って、製品を適切に梱包、マーキングし、出荷するものとします。標準パッケージングガイドラインは JCI より入手可能です。出荷時のパッケージングおよびラベル表示は、PPAP/PAPSO プロセスの一環として、JCI の「サプライヤ包装容器認定書」または同等のものを使用し、JCI の承認を受ける必要があります。

容器に貼付するラベルは、バーコード付きで、スキャン可能で、以下の情報が記載されている必要があります。

• 一般情報

- すべてのブロックには、図1に示すように、人間が読み取れるデータが 含まれています。
- バーコードは、以下の図 1 に示すように、ブロック内に配置する必要があります。
- 1次元コードは、Code 39コードでなければなりません。
- バーコードの高さは、特に指定がない限り、最低 10mm とします。
- ラベルの許容サイズは、高さ 4.0 インチ(101.6mm) ×幅 6.0 インチ (152.4mm)です。

図 1 は、コンテナ用標準ラベルの例と配置を示しています。以下は、各フィールド(ブロック)に必要なデータです。

ブロック A1-

- 差出人:サプライヤ住所、人間が読み取り可能な形式、3行
- International Build Statement (原産国の表記)(例: Made in USA)

ブロック A2-

● 出荷先: JCI 工場住所、人間が読み取り可能な形式、3 行

ブロック A3 -

部品改訂レベル(人間が読み取り可能な形式のみ)

ブロック B1-

- JCI 品番、人間が読み取り可能な形式、高さ 10mm(最小)
- JCI 品番、バーコード付き、Code39、高さ 12mm(最小)

ブロック B2-

- 製造ロット番号、人間が読み取り可能な形式、高さ 7mm(最小)
- 製造ロット番号、バーコード付き、Code39、高さ7mm(最小)
- 製造年月日、人間が読み取り可能な形式、高さ7mm(最小)

ブロック C1-

Johnson Controls

グローバルサプライヤ業績基準マニュアル(GSPSM)

© Johnson Controls Inc. 機密情報-配布禁止 13-17.400.GLBL

改訂 4

ページ 16/ 28

- 数量、人間が読み取り可能な形式、高さ 10mm(最小)
- 数量、バーコード付き、Code39、高さ12mm(最小)
- 単位:(単位)、人間が読み取り可能な形式、高さ10mm(最小)

ブロック C2-

- シリアル番号(該当する場合)、人間が読み取り可能な形式、高さ 7mm (最小)
- シリアル番号(該当する場合)、バーコード付き、Code39、高さ 7mm(最小)

ブロック D1-

- PO 番号: (注文書番号)、人間が読み取り可能な形式、高さ8mm(最小)
- PO 番号: (注文書番号)、バーコード付き、Code コード 39、高さ 10mm (最小)

ブロック D2 -

• 空白(将来の使用のため)

図1は、コンテナ用標準ラベルの例と配置を示しています。

ブロック A1	ブロック A2	ブロックA3
ブロック B1		ブロックB2
ブロック C1		ブロック C2
ブロック D1		ブロック D2



© Johnson Controls Inc. 機密情報-配布禁止 13-17.400.GLBL

改訂 4

ページ 17/ 28

差出人: 送信先: サプライヤ JCI-工場 REVレベル: 住所 住所 市町村 都道府県 郵便番号 XXX 市町村 都道府県 郵便番号 原産国 JCI部品番号: ロット番号: XXXXXXXX XXXXXXXX 製造年月日: MM/DD/YYYY シリアル番号: 単位: 数量: XXXXXXXX PCS ###,### PO番号: ######

図2は梱包明細書のサンプルです。



必要な梱包明細書

- 1. 梱包明細書番号
- 2. 注文書番号梱包明細書につきPO一部。複数のPO がある場合は、各行にPO#を記載する必要があり ます。
- 3. お客様のお名前と住所
- 4. 数量はPOの数量以下でなければならず、数量がこれより多い場合は、POを追加する必要があります。必要であれば、出荷前に購買担当者に連絡し、POの数量を増やしてください。
- 測定単位は、交渉による測定単位と一致しなければなりません。
- 6. JC部品番号は公称された部品番号と一致している必要があります
- 7. 内容は交渉された内容と一致する必要があります
- 8. 梱包に記載されている PO の項目#
- すべての主要アイテムのバーコード(梱包明細書、 PO、数量、部品番号、ASN#)
- 10. 梱包日と積荷ID番号
- 11. 請求書番号
- 12. 梱包明細書担当ユーザーID
- 13. 運送会社/顧客署名欄

5.2.1.4 サプライチェーン・ロジスティクス

製品は、注文書に指定される住所または場所(以下、「JCI 所在地」)に、買主の通常の営業時間中に納品されます。完全に米国内にのみ輸送される積荷を除き、すべて



© Johnson Controls Inc. 機密情報-配布禁止 13-17.400.GLBL

改訂 4

ページ 18/ 28

の積荷にはインコタームズ 2020 が適用される。米国を起点とし、完全に米国国内に配送される積荷は、売主の最終製造拠点にて FCA (運送人渡し条件)で、買主の輸送手段で出荷されます。

本商品の価格には、保管、取扱い、梱包、およびその他のすべての費用および料金、関税および税金がが含まれるが、政府が課す付加価値税(VAT)は含まれず、これらは売主の請求書上で、出荷ごとに分けて示さなければなりません。

最新のルーティング・ガイドは、Oracle© Transportation Management(OTM)ロジスティクス・サイトをご覧ください:

- JCI 専用 OTM ルーティングガイド
- OTM ロジスティクスサイトへのアクセスが必要なサプライヤは、こちらの手順 をご覧ください:
 - ルーティングガイド (johnsoncontrols.com)
 - パスワード: johns

5.2.1.5 LeanDNA©

LeanDNA©は、過剰在庫を削減し、納期を厳守し、JCIの在庫運用の指示を確立するための計画・在庫管理ソリューションです。LeanDNA©、JCIと提携し、JCIの在庫および計画業務の多くにソリューションを提供する第三者ソリューションです。すべての直接材サプライヤが、その能力を最大限に発揮するために LeanDNA©に 参加することが期待され、理解されています。JCI 拠点と接続されたすべての直接材サプライヤは、自動的に LeanDNA ツールに登録されます。各サプライヤは、LeanDNA 内のデータを管理する主要連絡先窓口を最低 2 名提供する責任があります。

サプライヤ・エンゲージメントは、JCIのサプライヤ・スコアカードに関連する重要な指標です。この指標は、LeanDNAツールを通じて提供されるデータの頻度と完全性を測定します。JCIでは、サプライヤが LeanDNA で最低限のコンプライアンス・スコアを維持することを期待しています。

LeanDNA は、LeanDNA ソリューションの更新や変更についての最新情報を提供する 包括的なナレッジベースを提供しています。LeanDNA と JCI は、ヘルプや質問をサポートするために、このナレッジベースレポジトリを利用することを推奨しています。サプライヤがナレッジベースにアクセスするには、まず LeanDNA の設定とユーザアカウントを作成してもらう必要があります。

LeanDNA ナレッジベース

5.2.1.6 ラインパランス (Line of Balance: LOB)

ラインバランス(Line of Balance: LOB)は、LeanDNAポータルを通じて JCI から提供されるか、場合によっては、さまざまな ERP システムのサプライヤポータルから入手できます。LOB は、サプライヤが要求された資材を提供するために必要な数量や期日など、JCI 所在地における現在および将来の需要に関する詳細を提供します。

Johnson Controls

グローバルサプライヤ業績基準マニュアル(GSPSM)

© Johnson Controls Inc. 機密情報-配布禁止 13-17.400.GLBL

改訂 4

ページ 19/28

5.2.1.7 事前出荷通知(ASN)

事前出荷通知(ASN)とは、サプライヤから顧客へ電子的に転送される出荷データのことです。JCI では、EDI を導入する際に ASN を標準的な期待値としています EDI は、JCI ERP システムとサプライヤ ERP システム間の電子通信です。データ転送は電子化され、ERP システム間でシームレスに行われます。サプライヤが EDI 機能を導入するまでは、電子メールによる ASN を提供する必要があります。顧客工場施設はASN に含まれる情報を 2 つの方法で利用します:

- 輸送中の商品の確認。
- 製品が入荷された際の出荷品との照合。

在庫記録、ERP/サプライヤ・スケジュール、請求書支払いに関連する情報の整合性を保ためには、正確さが不可欠です。ASNの適時性は、情報の正確性と機能性に極めて重要です。

ASN は、貨物の確定時に作成され、サプライヤが出荷地を出発してから JCI 工場に 到着するまでの 1 時間以内に JCI が受領する必要があります。

これらの要件を満たすためには、施設内のすべてのシフトが ASN を送信できなければなりません。ASN の受領確認はサプライヤに提供されます(利用可能かどうかは JCI 工場にお問い合わせください)。ASN が正常に JCI 工場に送信されるようにするためには、ASN に以下のすべての指定情報が含まれている必要があります。船荷証券(BOL)、梱包明細書、注文書番号のない ASN を受領した場合は、当社の規定に適合しないため、受領されません。ASN が送付されなかった場合、不具合材料報告 (DMR) が発行されます:

- BOL 番号、梱包明細書、または請求書番号:バーコードが必要
- 出荷日時
- 貨物の総重量
- 貨物の正味重量
- 船荷証券の総数量(カートン数など)
- スタンダードキャリアアルファコード(SCAC)
- モードコード(例: "E"は Expedite、"A"は Air など)
- プールポイントの場所(該当する場合)
- 追跡番号または PRO 番号
- 梱包明細書番号
- 出荷場所(当社サプライヤコードまたはサプライヤ DUNS コード)
- 出荷先(ドックコードを含む工場コード)または DUNS コード
- 部品番号 バーコードが必要
- 技術変更レベル(部品)
- 出荷数量 バーコードが必要
- 単位



© Johnson Controls Inc. 機密情報-配布禁止 13-17.400.GLBL

改訂 4

ページ 20/ 28

- 注文書または分納契約書の番号、行、リリース バーコードが必要
- 各部品の出荷カートン数
- カートンあたりの数量 EDI 仕様
- 出荷形態(LTL、トラック積載など
- 貨物運送業者の名前
- 納品予定日

6.0 調達から支払いまで:原料とサービス

JCIでは、発注から支払までのシームレスなプロセスを実現し、効率性、有効性、内部統制の強化に継続的に取り組んでいます。そのため、PTP/P2P(調達から支払いまで)のコンプライアンスを重視し、サプライヤと緊密に連携して明確な定義と期待を提示することで、プロセスの遵守を徹底しています。

6.1. Procure-to-Pay (調達から支払いまで(PTP))請求書発行と支払い

Procure to Pay Procure—to—Pay (Purchase—to—Pay または PTP/P2P)とは、製品の製造やサービスの提供に必要な商品やサービスを入手し、管理するプロセスのことです。このプロセスには、当社のサプライヤに送信されるデータの取引フロー、実際の注文の履行に関連するデータ、およびこれらの製品またはサービスの支払いが含まれます。当社のサプライヤは、支払いを期日通りに処理するため、上記リンクの指示に従う必要があります。

- 請求書要件の基本原則 北米
- 請求書要件の基本原則(中南米)
- 請求書要件の基本原則 欧州、中東、アフリカ
- アジア太平洋地域請求書基本原則

6.2. サプライチェーンファイナンス(SCF)

JCI の標準支払条件は、ベンチマークや競合他社と適合して、資材・サービスベンダーは 120NPR(次回支払い)、下請け業者は 120NPR PWP(次回支払日、Pay-When-Paid)と定められています。これにより、業界における競争力を維持し、サプライヤと共ににビジネスを成長させることができます。サプライチェーンファイナンス(SCF)は、サプライヤが売掛債権の購入などを実施することで、企業の早期資金化を可能にしてサプライヤのキャッシュフローを改善しながら、支払条件を延長することです。SCF プログラムの詳細や、オンデマンド録画の視聴については、お住まいの地域の教育ページをご覧ください。なお、コンテンツにアクセスするにはパスワードが必要です。大文字と小文字を区別するパスワード「ingenuity」を使ってアクセスしてください。

- 北米サプライチェーンファイナンス教育ページ
- EMEA サプライチェーンファイナンス教育ページ

適切な録画ビデオを視聴するには、貴社のサプライヤタイプと、JCI から貴社への年間支出額(既知または予測)に基づき、ビデオオプションを選択してください。



© Johnson Controls Inc. 機密情報-配布禁止 13-17.400.GLBL

改訂 4

ーページ 21/ 28

APAC または LATAM 地域の方は、下記のメールを使って SCF チームに詳細をお問い合わせください。

- APAC サプライチェーン・ファイナンス・チーム
- LATAM サプライチェーン・ファイナンス・チーム

7.0 業績監視、関係構築、サプライヤエスカレーション

7.1. サプライヤ・スコアカード

サプライヤ・スコアカードは、企業がサプライヤのパフォーマンスを評価し、改善点を特定し、将来のパフォーマンスへの明確な期待を定めるための、構造化された客観的な方法を提供します。JCI は、このスコアカードを使ってサプライヤのパフォーマンスを定期的にモニタリングし、報告することで、サプライヤとより強い関係を構築し、サプライチェーンの効率性を高め、リスクを低減し、より良いビジネス成果を生み出すことができます。JCI サプライヤ・スコアカードのカテゴリー分布は以下の通りです:

- 品質
- 費用
- 納品
- 環境、社会、ガバナンス
- レジリエンス

7.2. 品質目標:100 万機械あたりの欠陥数(部品不良品率(PPM))

サプライヤの品質パフォーマンスを測る尺度のひとつに、100万機械あたりの欠陥数(部品不良品率 (PPM))があります。サプライヤは、社内 PPM と顧客 PPM の両方を確立し、社内外の目標を定義し、それらを達成したことを裏付ける記録が必要があります。

サプライヤのパフォーマンスに対する期待値は 0 PPM(不良品ゼロ)ですが、サプライヤ・スコアカードで満点を獲得するには最大 60 PPM が必要です。

JCI 施設が受領した製品で、図面、仕様、および/または合意された基準に不適合であることが確認されたものは、サプライヤの PPM 記録にカウントされます。

数量は購入時の単位で報告されます。

問題が特定される前に、またはその部品が JCI サイトで使用される前に、潜在的な問題を特定し、せつめいし、適切な措置を講じた場合、その部品は PPM にカウントされません。

7.3. 逸脱プロセス/コントロール

サプライヤは、注文書、図面、仕様、または適用される業界基準(EIA、ASTM など)のすべての要件を 満たす責任を負います。逸脱を要求する場合、要求には以下が含まれていなければなりません。

- 逸脱の概要を説明した文書
- 逸脱する特定の条項
- 今後の供給に対して取られるべき是正措置
- 是正措置の実施責任者



© Johnson Controls Inc. 13-17.400.GLBL 機密情報-配布禁止

改訂 4

ページ 22/ 28

- 影響を受けるロット番号と数量
- 不適合の再発を防止するための是正処置の実施予定日

7.4. サプライヤ変更管理

サプライヤは、社内の変更管理プロセスを確立するものとします。既存の PPAP/PAPSO 記録との不適合を引き起こす、

4M1E(Man、Machine、Material、Method、Environments)に関する変更はすべて、実施前に JCI に提出し、承認を得る必要があります。

7.5. 不適合材料のサプライヤ通知

サプライヤは、文書化された拒否通知により、不適合材料またはサービスの通知を受けます。この文書は、購入した材料やサービスが品質要件に適合していないことが確認された場合に発行されます。

- Johnson Control がサプライヤの不適合材料を管理するコストを把握するため、各拒否通知に対し管理手数料が課される場合があります。
 これは通常、IRIS プラットフォーム(次項参照)を通じて、サプライヤチャージバック(SCB)の形
 - で発行されます。このチャージバックには、SMRR(サプライヤ材料拒否通知)(管理費 100 米ドル)および DMR(管理費 250 米ドル)に関連する、すべての特別費用(品質不良コスト (COPQ))および/または管理費が含まれる場合があります。
- サプライヤは、問題が通知されてから 24 時間以内に、4D/8D 手法を用いて、指定された JCI サプライヤ品質担当者に暫定封じ込め計画書を送付する必要があります。JCI サプライヤ品質担当窓口から別の回答時間が要求された場合は、その時間に従ってください。
- サプライヤは、JCI のサプライヤ品質担当窓口から要求された場合、7 日~30 日以内に、8D アプローチを用いて問題解決に取り組んだ結果を文書で報告するものとします。サプライヤが 指定された期間内に品質問題を解決できない場合、特に指定がない限り、問題が解決される まで 8D アプローチを用いて毎週最新情報を提供しなければなりません。

7.6. 問題解決情報システム(IRIS)

JCI は、品質および材料に関する問題解決を追跡する、問題解決情報システム(IRIS)ソフトウェアを導入しています。IRIS プログラムの詳細は、以下のリンクをご覧ください:

- サプライヤ問題解決コミュニケーション・レター (PDF)
- サプライヤ問題解決トレーニング (PDF)

7.7. マネジメント・クオリティ・レビュー(MQR)の導入

マネジメント・クオリティ・レビュー(MQR)ミーティングは、現在の問題状況(品質、納期、その他の問題)を分析・検討するために実施されます。サプライヤの説明責任と対応が重視されます。

MQR は、サプライヤが次に起因する問題に責任があると考えられる場合に調整されることがあります:



© Johnson Controls Inc. 13-17.400.GLBL 改訂 4 ページ 23/ 28 機密情報-配布禁止

- 印刷物に定義されている製品安全特性が、プロセス・パフォーマンス指数(PPK)、能力パフォーマンス指数(CPK)の要件が満たされない。
- サプライヤの製品品質または部品不足のため、生産が中断された。
- サプライヤの製品の品質が原因で、JCI および/または顧客により仕分けまたは手直し行われた。
- 一定期間中に最も業績の悪かったサプライヤの1つ。
- JCI の運営に影響を及ぼすデリバリーパフォーマンスの低下。

MQR の目的は、リスクの高い問題を重視し、優先することです。

7.8. サプライヤ四半期ビジネスレビュー(QBR)

四半期ビジネスレビュー(QBR)は、JCIカテゴリーマネジメント、社内関係者、サプライヤが会合を開き、主要業績評価指標(KPI)と照らし合わせてサプライヤの業績を評価する機会を提供します。QBR (四半期ごとのビジネスレビュー)の目標は、次を評価することです:

- 目標の調整(再調整)
- ベンチマークデータと指標
- サプライヤ・スコアカード
- 業績評価
- 特記すべきリスク観察事項(例:財務安定性の格付け、事業継続および災害復旧計画に関連 するオペレーショナル・レジリエンス)
- 戦略ロードマップ

7.9. サプライヤのエスカレーション

JCI カテゴリーマネジメントは、サプライヤの能力を理解し、契約を交渉し、パフォーマンスを監視するために、サプライヤと緊密に協力します。エスカレーションが発生した場合、カテゴリー・マネジメントは問題を管理し、解決策を見つけるためにサプライヤと協力する責任を負います。

カテゴリー・マネジメントは、サプライヤや社内のステークホルダーと協力することで、リスクを最小限に抑え、効率を最大限に高めながら、サプライヤから最高の価値を得られるよう支援します。

8.0 リソースサイト

- 気候変動ポリシー および姿勢
- 紛争鉱物ポリシー
- コーポレート・ガバナンス
- データアクセス契約(DAA)
- 多角的ベンダーのプロファイルと多様な支出レポート(Gainfront)
- Ecovadis© アセスメント
- EMEA サプライチェーンファイナンス教育ページ



© Johnson Controls Inc. 13-17.400.GLBL 改訂 4 ページ 24/ 28 機密情報-配布禁止

- GEP SMART™ ログインページ
- GEP SMART™ サプライヤ・クイック・リファレンス・ガイド
- グローバル環境・衛生・安全(EHS)方針
- グローバル製品見積依頼
- アジア太平洋地域請求書基本原則
- 欧州、中東、アフリカ請求書基本原則
- 中南米請求書基本原則
- 請求書要件の基本原則 北米
- 人権と持続可能性に関する方針
- Integrity Helpline ダイバーシティ&インクルージョン
- サプライヤ問題解決コミュニケーション・レター (PDF)
- サプライヤ問題解決トレーニング(PDF)
- LeanDNA©
- LeanDNA ナレッジベース
- 北米サプライチェーンファイナンス教育ページ
- JCI 専用 OTM ルーティングガイド
- 政治献金方針
- 調達から支払いまで(Procure-to-Pay(PTP))請求書の発行と支払い
- Quantum
- RapidRatings®
- ルーティングガイド (johnsoncontrols.com)
- 過重労働と人身売買に関する方針と声明
- サプライチェーンファイナンス(SCF)
- サプライヤのダイバーシティ | Johnson Controls
- JCI 倫理規範とバリュー第一

9.0 定義

- 4D:問題解決のアプローチは、問題に対処し、構造的に解決するために必要なツールキットを提供します。
- **8D**:8D 手法の目的は、反復的な問題を特定し、修正し、排除することであり、製品やプロセスの改善に役立てることができます。
- Ecovadis: 国際基準に基づく世界的な持続可能性格付け会社である EcoVadis は、当社のサプライチェーン・パートナーの持続可能性パフォーマンス評価を個別に実施しています。
- **eRFX** 調達技術において、eRFX(または ERFX)は、「Electric Request for [x]([x]の電子要請)」の 頭文字をとったもので、xには提案書(RFP)、見積書(RFQ)、情報提供書(RFI)、入札書(RFT)が あります。



© Johnson Controls Inc. 機密情報-配布禁止 13-17.400.GLBL

改訂 4

ページ 25/ 28

- <u>GEP SMART™:</u> 上流の調達業務と下流の調達業務を 1 つの最先端のクラウドプラットフォームに統合した、直接・間接支出管理のための、強力で、完全な機能を備えた調達ソフトウェア・プラットフォーム。
- ISO SO(国際標準化機構): 非政府の独立国際機関。技術、管理、製造のあらゆる側面をカバーする国際規格。
- LeanDNA®: 強力なアナリティクスとベストプラクティスの運用ダッシュボードを備えた、クラウドベースの実用的インテリジェンス・プラットフォーム。
- Oracle® Transportation Management (OTM): 初期の計画から実行まで、エンド・ツー・エンドの輸送管理のための堅牢な機能を備えたクラウドベースのシステムです。 輸送管理者は、ロジスティクスを合理化し、サービスレベルを向上させ、運賃を最適化することができます。
- Procure-to-pay (調達から支払いまで) (Purchase to Pay (P2P または PTP) としても知られる): ソフトウェア業界で使用される用語で、調達プロセスの特定の細目を指定します。 P2P または PTP システムは、購買部門と買掛部門 (AP) の統合を可能にします。
- RapidRatings: 第三者財務健全性評価プロバイダー。戦略的に選定されたサプライヤの財務安定性に焦点を当て、段階的な評点を提供します。
- SAP® Ariba の購買と請求書作成:クラス最高の使いやすい 調達から支払いまでソリューションで、支出に関連するすべてのプロセスを効果的に管理し、交渉された節約が、確実に最終利益に達するようにします。
- SAPAriba サプライチェーンコラボレーション(SCC): Ariba ネットワークを通じた買主とサプライヤ間の包括的かつ柔軟なコラボレーションを実現します。より良いプランニング、在庫の可視化、自動化による直接資材の確実な供給
- カテゴリ:調達部門が管理する類似する性質を帯びる原料やサービスのグループ。コモディティという用語とほぼ同じ意味で使用されます。
- カテゴリー戦略: JCI にとって重要なカテゴリで、将来的/長期的な調達戦略を必要とするもの。 グローバルカテゴリー戦略リストは、コモディティ戦略ディレクター/間接バイヤーによって管理されます。
- **グローバル・サプライヤ品質・開発エクセレンス(GSQDE)**: サプライヤの品質とは、顧客のニーズ を満たす商品やサービスを提供するサプライヤの能力のことです。サプライヤ品質管理(SQM)と は、サプライヤの品質を主体的・協働的に管理する仕組みと定義されています。
- **グローバルサプライヤ業績基準マニュアル**:グローバル・サプライヤ業績基準マニュアル(GSPSM) の目的は、JCI のビルディング・テクノロジー&ソリューション(BT&S(Building Technology & Solutions))部門およびエンタープライズ・コーポレートの機能をサポートするために、JCI に材料、製品、サービス(個別または総称して「製品」)を提供するサプライヤに JCI の要件を伝達することです。JCI では、直接材、現場資材およびサービス、間接資材およびサービスのすべてのサプライヤが、GSPSM に記載されたすべての要求事項および期待事項を遵守することを期待しています。
- コード 39:名札、在庫、工業用装置など、さまざまなラベルに使用される一般的なバーコードのタイプです。コード 39 文字セットのシンボルは、0~9 の数字、A~Z の大文字、スペース、および以下



© Johnson Controls Inc. 機密情報-配布禁止 13-17.400.GLBL

改訂 4

ページ 26/ 28

のシンボルで構成されます: -.\$ / + %.コードは、符号化されたデータを表す幅の狭いバーと広いバーで構成され、各文字は 9 本のバー(うち 3 本は幅の広いバー)で表されます。

- **サプライヤ チャージバック**: サプライヤは、不適合部品、材料、サプライヤからの納品遅延によりメーカーに発生した追加コストを請求されます。
- **サプライヤ:ベンダーまたはサードパーティと呼ばれることもあります。**JCI では、サプライヤのリスクと、JCI に影響を与える不適切または違法な行為の可能性を区別するために使用される 21 の標準的なサプライヤタイプがあります。
- **サプライヤステータス** JCI のエンタープライズリソースプランニング(ERP)システム内のサプライヤの基本的な活動レベルを示すもの。
- サプライヤの事業継続性(SBC) 組織のビジネス上重要な機能を特定し、リスクとその影響を評価し、インシデント発生時に組織の回復力を可能にする計画を策定するプロセスの総合的な管理。
- **サプライヤの材料不合格報告書**: サプライヤは、サプライヤ材料拒否レポート(SMRR)と呼ばれる 文書化された拒否通知を通じて、不適合材料の通知を受けます。
- サプライヤ契約: サプライヤ契約とは、当社(Johnson Controls, Inc.および/またはその子会社)
 が、自社で使用/消費するため、または再販するために、第三者のサプライヤから物品、サービス、材料、またはソフトウェアを購入、レンタル、またはリースするための文書で、次が含まれます:
 - サプライヤとの契約(合意書、契約書、提案書)
 - 商品供給契約 o マスター契約
 - 政府機関との調達契約(エネルギー、公共事業、税金) o 再販契約
 - 製造契約:カスタム、プライベート/ホワイトラベル、共同開発(JDA)
 - 特別契約: 趣意書、覚書(MOU) または補償契約 o リース契約: 設備または車両のリース
 - 契約変更(JCI「グローバル取引条件」及び/又は「地域・国別契約変更・補足条件」の 変更を含みます。グローバル調達基準・約款サイト
 - 契約の更新と延長
 - 契約の終了または失効に関する記録。
 - SOW (業務記述書)または発注文書。
- サプライヤ業務評価(SOA):グローバル・サプライヤ開発・品質エンジニアリング部門のチームメンバーまたはその被指名人によって、生産発注および/または JCI 優先サプライヤリスト(PSL)に掲載される前に実施されます。
- ソーサブルな支出:調達部門が影響力を行使できる支出。すべてのソーサブルな支出が管理可能とは限りません。
- プロセス・パフォーマンス・インデックス(PPK):プロセスがどのように実行され、仕様を満たしているかどうかを評価します。
- マネジメント・クオリティ・レビュー(MQR): MQR ミーティングは、現在の問題の状況(品質、納期、その他の問題)を分析・検討するために実施されます。サプライヤの説明責任と対応が重視されます。



© Johnson Controls Inc. 機密情報-配布禁止 13-17.400.GLBL

改訂 4

ページ 27/ 28

- 不具合材料報告書または DMR: 不適合材料の報告に使用される。これは、製造者が状況を解決するために是正措置・予防措置(CAPA)を実施すべきことを示しています。このレポートは、逸脱の報告手順を開始し、サプライヤ是正措置要求(SCAR)を提出する際に役立ちます。
- **事前出荷通知または予定入庫通知(ASN)**:これは、同梱の梱包明細書と一致する処理中の配送 および配送予定の通知です。これは、通常電子形式で送信される、一般的な EDI 文書です。
- **事業継続と災害復旧(BCDR)計画**: サプライヤ 自社の運営およびサプライチェーンの持続性を確保するための適切な計画、ツール、プロセス、およびガバナンスの管理。サプライヤは、事業継続計画の取り組みが納期とパフォーマンスのコミットメントをサポートし、健全な業界のベストプラクティスに沿ったものであることを確認する必要があります。
- **企業資源計画**(ERP)システム: 購買部門ベンダーマスター記録の保存、注文書の発行、支払の発行を行うデータベースの役割を果たすビジネスシステム。
- **優先サプライヤリスト**:カテゴリー戦略の結果、JCI によって使用されるサプライヤのリストです。サプライヤには、「優先サプライヤ」、「非優先サプライヤ」、「評価」または「指示」があり、優先サプライヤリストに定義される方法で使用できます。
- **利益相反**: 事業依頼者および承認者がサプライヤとの金銭的利害または受益権がないことの確認を求めるデューデリジェンスおよびサプライヤの追加/変更の基準。
- **品質低下の代償**: 低品質の製品やサービスが提供されたことに関連した費用と定義される。
- **多様なサプライヤ**: 米中小企業庁(SBA)が定義する少数民族か女性によって 51%以上を所有、管理、および支配される企業、または現地国の定義に基づき歴史的にあまり活用されていないビジネス。
- 契約の終了または失効に関する記録。
- 契約ライフサイクル管理(CLM):契約の開始、締結、コンプライアンス、更新に至るまで、イニシア チブを取り、計画的に管理すること。
- **対象サードパーティー(3P)サプライヤ**: サプライヤの事業内容により、追加の法令遵守評価を必要とするサプライヤ関係。
- 標準キャリア・アルファ・コード(SCAC): 運送会社を識別するために使用される 2~4 文字のユニークなコード体系。
- 次回支払実行(NPR)または月次支払実行(MPR):支払いは、請求書受領日から翌月または毎月の支払いとなります。
- 独占供給元:「独占供給元¥からの調達は、既知の供給元が1つしか存在しない、あるいは、要件を満たすことのできるサプライヤが1つしかないという正当な理由から、競争入札プロセスを経ることなく締結されたすべての契約と定義することができます。独占供給元(Sole Source)からの購入とは、申請者・依頼者の知る限り、および調査(市場調査など)の結果、1つのサプライヤ(供給元)のみが必要な製品またはサービスを提供できることを意味します。
- 現場支出:JCI 支社によって調達され、特定のプロジェクトまたはサービス要件を満たすために、最終顧客に直接再販売される(COGS(売上原価))物品または下請サービスのことです。 この支出は、お客様/クライアントの個別原価に関連した製造/工場以外の支出です。

Johnson Controls

グローバルサプライヤ業績基準マニュアル(GSPSM)

© Johnson Controls Inc. 機密情報-配布禁止 13-17.400.GLBL

改訂 4

ページ 28/ 28

- 生産部品承認プロセス(PPAP):エンジニアリング設計と製品仕様がサプライヤの製造工程に適合していることを証明するプロセスを概説する業界標準。PPAPを通じて、サプライヤと顧客は、サプライヤが製造した部品の承認を得るために必要な要件に合意します。すべての部品と商品に適用される PPAP の原則は、一貫した承認プロセスを提供することで、部品承認時の遅延や不適合を削減するのに役立ちます。
- **直接支出**:製造中の製品に直接組み込まれている商品を購入すること。これらの材料は、材料表に含まれています。これには原料、アフターマーケット部品、完成品が含まれます。
- **能力パフォーマンス指数(CPK)**:プロセスが特定の仕様を満たす可能性があるかどうかを予測するプロセス能力パフォーマンス指数(CPK)。
- 製品承認および工程サインオフ(PAPSO):新製品、工場間移管、製品変更、新規サプライヤまたはサプライヤの変更に関する製品承認および工程サインオフ(PAPSO): (PAPSO)活動のプロセスと成果物および責任
- 製造委託契約:カスタム、プライベート/ホワイトラベル、共同開発(JDA)
- **見積依頼書(RFP)**:商品、サービス、または資産の調達に関心のある機関または企業が、潜在的なサプライヤに事業提案を提出するよう求める文書。
- **認定サプライヤ**: 定義に従ってデューデリジェンスが実施され、企業資源計画(ERP)システムのサプライヤステータスが「有効/承認済み」となっているサプライヤ。
- 資本金および設備投資:製造工程で使用される装置、および研究所、アフターマーケット市場での 販売およびサポートなど、製造支援施設で使用される装置に関連した支出で、施設の修繕および 向上に使用される場合は対象となりません。
- **部品不良品率または PPM**: 100 万機械あたりの欠陥数のことです。 PPM は自動車業界で使用され、品質パフォーマンスを測定する KPI (重要業績評価指標)を確立します。例: 1PPM とは、100 万個の部品生産で 1 個の不良品が発生したことを意味します。
- 間接サプライヤ評価(ISA):プロセスは SOA と同じ基本的な目的を果たします。間接サプライヤを評価するために、ISA ワークブックでは 4 つの分野を評価します:安全衛生、環境、品質、プロセス
- 間接支出:製品に直接使用されず、材料表に含まれていない、現場/顧客のプロジェクトに対して 請求不可能な物品およびサービスの購入。これらは通常、MRO(メンテナンス、修理、運用)、事務 用品、会費、教育、接待、ミーティングなどの製品やサービス費です。
- 電子データ交換(EDI) ビジネスパートナー間で、ビジネス文書を標準的な電子フォーマットでコンピュータ間で交換すること。